

えんちゃん新聞

祝 誕生日

4月から6月にかけて、4名のご利用者が誕生日を迎えられ、各ユニットで趣向を凝らした誕生日会を催しました。

向日葵ユニットでは、職員からお祝いのコメントを寄せた色紙とコップをプレゼントさせていただきました。「これに入れて飲むお茶は美味しいなあ。」と大変喜んで下さいました。他「ユニットのご利用者も一緒にお祝いに参加し、賑やかな誕生日となりました。また、夜勤職員が特大プリン作りに挑戦し、皆さまにお披露目。少し(?)形は崩れましたが、味はとても美味しく喜んで頂き大成功でした。差し入れのおやつを大変喜ばれ、すぐにペロリ!」「これくらいじゃ足りませんねえ。」と笑顔で話して下さいました。



イメージ画像



ご利用者の喜ぶ顔を想像して作った色とりどりの色紙



HAPPY BIRTHDAY

発行元
令和5年7月発行
第55号
社会福祉法人 亀鶴会
偕楽園
特別養護老人ホーム偕楽園
〒874-0904
大分県別府市南荘園町25組
TEL: 0977-22-2515

新聞の名前は、施設で飼っているペットの名前で。

名前: えんちゃん
犬種: トイプードル
性別: 男の子

●施設の特徴
4つのユニットで構成され、ユニットケアを行っています。

特養: 29部屋(全室個室)
向日葵ユニット(10)
金木犀ユニット(10)
小梅ユニット(9)
ショートステイ: (全室個室)
桜ユニット(10)



技能実習生がやってきました



5月9日、ミャンマーから技能実習生2名が来日し、歓迎セレモニーを行いました。職員の拍手に迎えられ、理事長からの辞令交付、施設長からの激励の言葉が贈られました。今回来日の2名のうち1名はグループホームに配属、特別養護老人ホームには、ニんさん配属となりました。一昨年来日のキンさん、昨年来日のカインさんに続いて、特別養護老人ホームでは、3人目の受け入れとなります。施設に隣接する寮で共同生活を送りながら、介護技術と日本語を学びます。先に来日の2名同様、笑顔が素敵で日本語は日常生活に支障がなく、仕事も大変丁寧に勉強熱心です。海外から志を持って当施設に来てくれたニんさん。新しい環境に慣れる様々みなどでサポートして参ります。

梅の収穫とジュース作り

今年も敷地内の梅の木にたくさんの実がなりました。バルコニーから梅の木を見て、「あれはなんかな。梅がなっちゃうよ」と話されていました。散歩の途中、気になるあれをご利用者といっしょに収穫しました。梅の実を手にとって、嬉しそうなお顔をされているのが印象的でした。別のご利用者が「食べてみると流石に酸っぱいので、職員が試しに一口食べてみると流石に酸っぱい」と、その様子をご覧になって、「食べていいな」と笑われていました。収穫した梅は、梅ジュースをつくり、おやつ時間に召し上がっていただきました。



「昔を思い出すなあ」と慣れた手付きでヘタを取って下さいました。



梅の実を手に取り優しい笑顔



取り残しのない様に高い所もしっかり収穫



氷砂糖につけること1カ月。美味しいジュースの出来上がり。



職員にとっては、父母の様な存在のご利用者。小梅ユニットでは、日頃の感謝の気持ちを込めて、父の日に職員手作りのメッセージカードをプレゼント。母の日には、職員のお子様手作りのお花をプレゼントしました。皆様大変喜ばれ、笑顔で受け取って下さいました。



えんちゃん日記

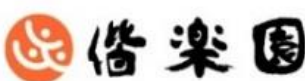
いつもえんちゃんを可愛がって下さるご利用者。えんちゃんもお部屋にお邪魔しては撫でてもらう、おやつ時間はバルコニーまで追いかけて、ちゃっかりおやつをいただいています。

特別養護老人ホーム

TEL:22-2515 FAX:22-2516

グループホーム

TEL:22-5553 FAX:22-5554



居宅介護支援事業所

TEL:85-8561 FAX:22-5554

ヘルパーステーション
24時間いつでもコール

TEL:75-8816 FAX:76-5889

防災訓練

6月20日、消防署立ち合いのもと防災訓練を行いました。コロナ禍の影響で、実際に屋外に避難する訓練は数年ぶりとなりました。

当日は、1階厨房から火災が発生した想定で、初期消火、通報、避難誘導、報告の訓練を行いました。訓練とわかっていてもいざ非常ベルが鳴り響くと緊張が伴うものでした。発生元、避難経路、避難場所を職員間で共有しながら、消防の到着までの間、安全にご利用者を避難させるのが私たち職員の役割です。

消防署の方から、天井まで炎が届いたら自分たちの消火は困難であること。ご利用者に煙を吸わせることなく安全に避難させること。また、車いすに乗った状態で階段を降ろされる時の恐怖感を和らげる声掛けの重要性などについて話をいただきました。避難訓練の後は、消火器の使い方を感じ取るため、水消火器を用いて消火訓練を行いました。



いつ起きるかかわからない災害。毎年の訓練の積み重ねにより、いざという時に落ち着いて行動できるように備えたいと思います。



火元から遠い駐車場に



初期消火



水消火器を使って消火訓練



車椅子を使って非常階段からの避難

ショートステイの様子



晴れた日に中庭で日光浴をしました。



技能実習生の二人とパシャリ



職員のバイクをみて「これいいな」。



梅雨の晴れ間



小さい折り紙に悪戦苦闘しながらも折り進めていき、きれいな紫陽花が完成しました。「こんなに時間が経ってびっくりした！」と驚かれるほどの集中力でした。



バルコニーでおやつ待ち



スマホでBGMを選曲する職員



雨続きで鬱陶しい日には童心に戻り、綿菓子づくりで楽しみました。はじめはへんてこな形になり大笑いでしたが、段々と上手になり盛り上がりました。



5月5日 子供の日の昼食は、ちらし寿司。こいのぼりや新聞紙で作った兜を見て、「もうとくに子供じゃないけどね。」と皆様笑われていました。



移動理容美容室

5月17日、3名の美容師が来園し、ご利用者のカットを行いました。夏に向けて少し短めにカットしていただきました。気持ちもスッキリされた様子で、皆様喜ばれていました。



ご家族との外出

5月8日より、面会制限の緩和により、居室での面会が可能となりました。併せて、ご利用者に負担のない範囲で、外出や外泊も可能となりました。

この日もご家族とお買い物に出かけるご利用者の姿がありました。久しぶりの親子水入らずのお出かけです。リフレッシュされた様子で、3時間ほどの外出の後、満面の笑顔で帰園されました。



職員研修会

5月25日、他事業所の職員も参加して、職員研修会を行いました。コロナ禍により研修資料の回覧が続きましたが、久しぶりに一同に会しての開催となりました。

今回のテーマは、「認知症ケア」「人権擁護・高齢者虐待防止」「感染症」「食中毒」「接遇・サービスマナー」でした。初めて知る内容や再認識させられる事など、資料作成、発表を担当した職員は勿論のこと、参加者も高齢者の尊厳を守りながらケアの向上をめざす事を共通認識として確認できた様に思います。今後3ヵ月に1度の開催を継続してまいります。

